

(一社)日本詩人クラブ 2026年 9月 例会のご案内

日時 2026年9月12日(土) 14時~17時

資料代500円

会場 今井館聖書講堂

司会 岩重桃平

●会員による詩の朗読 灘奏子 雨宮汐里 稲村拓也

●三賞受賞者講演

「レイト・ワークとしての一冊」

日本詩人クラブ賞受賞者 沢田敏子
(代読)

■プロフィール 沢田敏子(さわだ としこ)

1947年愛知県生まれ。19歳のころから詩誌に参加、発表を始める。20代からの詩集に『市井の包み』(第10回小熊秀雄賞)『未了』(第21回中日詩賞)など。本書は9冊目の詩集。放送大学教養学部〈発達と教育〉(現・〈心理と教育〉)専攻卒業。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程前期課程修了。文芸同人誌「象」、詩誌「鯨々」同人。

「私の中国生活」

日本詩人クラブ新人賞受賞者 岩重桃平

■プロフィール 岩重桃平(いわしげ とうへい)

2000年東京都生まれ、在住。10代後半より詩作を始める。中国の北京外国語大学を卒業。在学中に第1詩集『イコールで世界を結ぼうとするな』(2021年・文化企画アオサギ)を刊行。帰国後、会社員として生活する中で第2詩集『心のがらんにミミズを飼う』(2025年・文化企画アオサギ)を刊行。詩誌「指名手配」同人。日本中国文化交流協会、日本詩人クラブ会員。

「詩的言語と詩」

日本詩人クラブ詩界賞受賞者 今野真二

■プロフィール 今野真二(こんの しんじ)

1958年神奈川県鎌倉市生まれ。大学では、日本語にかかわる科目及び日本文化にかかわる科目を担当。2024年4月から毎週日曜日に『日経新聞』でコラム「日本語日記」を担当。『仮名表記論攷』(2001年、清文堂)で第30回金田一京助博士記念賞を受賞、『北原白秋』(2017年、岩波新書)『詩的言語と絵画』(2017年、勉誠社)『日本とは何か 日本語の始源の姿を追った国学者たち』(2023年、みすず書房)『日本語と漢字』(2024年、岩波新書)『日本を知る 小林秀雄「本居宣長」をよむ』(2025年、みすず書房)などを出版。

* 例会終了後懇親会を行います。
どなたでもご参加ください。 会費 4,000円

例会・国際交流理事 丹羽京子
TEL090-1107-1199
papiya.kn@gmail.com

NPO法人今井館教友会 今井館聖書講堂

東京都文京区本駒込6-11-15
●JR山手線 駒込駅 南口 徒歩11分
●地下鉄南北線 駒込駅 2番 徒歩8分
●地下鉄都営三田線 千石駅 A4 徒歩5分
六義園をめざしてください。六義公園運動場側です。

